



ミャンマーの地震で気づいたこと

キン チョー チョー サン
KHIN KYAWT KYAWT SAN

3月28日午前12時50分。ミャンマーでマグニチュード7.7の大地震が起きました。そのニュースを知ったのは、仕事が終わって帰る準備をしている時でした。上司からの知らせを受けて、あわててテレビをつけました。テレビで目にしたのは、倒壊した建物と必死に助けをを求める人々。まさに地獄そのものでした。私は誰かに胸を足で蹴られたような強い衝撃を受けました。なぜなら地震が発生したのは、実家があるミャンマー中部のマンダレーだったからです。家族や友人と連絡が取れたのは、地震発生から数日後のことでした。みんなの安全が確認できた時は、体の力が抜けて、思わず号泣してしまいました。

ミャンマーは地震がほとんどない国です。そのため耐震性のある建物が少ないです。また地震警報の仕組みや、緊急救助センターの体制はありませんでした。その結果、大きい被害を生んでしまいました。

今回の地震を通して、私は二つの気づきがありました。一つ目は、準備・訓練の大切さです。地震の多い日本では、災害の準備や避難訓練がしっかり行われています。それによって培われた習慣は、緊急時に多くの命を救うことができます。会社に入る前、組合で防災について学びました。地震や津波の映像も見て知識を得ましたが、他人事として感じていました。今回起きたミャンマーの地震を通して、災害に対する教育活動や、定期的な訓練の大切さを実感しまし

た。日本は地震や津波などを何回も経験しています。その悲しみの中で、準備と訓練の大切さを学んできたのだと思います。どんなことにも事前に対策をしっかりと意識と行動が、日本を技術的にも経済的にも発展させてきたのだらうと思います。今回の大地震を教訓に、ミャンマーも準備と訓練の大切さを日本から学ぶ必要があると思います。

二つ目の気づきは、人々のつながりの大切さです。地震が発生して数日たったある日のことです。寮の近くにあるコンビニの店頭に「ミャンマー地震災害に伴う援金募金」というポスターが貼ってありました。そして募金をしている日本の方を見かけました。その時に涙が出そうなくらい感謝の気持ちでいっぱいになりました。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉があります。日本は災害が起きた時、励まし合い、支え合いながら悲しみを乗り越えてきました。その経験が、ミャンマーへの募金活動につながっているのだと思います。日本人の思いやりとつながりを大切にする精神は、心を一つにし、戦争のない美しい世界を作る可能性を持っていると思います。

私は実習生として日本へ来られたことを大変誇りに思っています。これからも日本の技術や日本語を熱心に学ぶと共に、日本の方の考えや精神も身につけていきたいと思っています。そして日本で学んだことを、ミャンマーの人々に伝えたいと考えています。

受賞の喜び



国 籍 ミャンマー
職 種 畜産農業
実習実施者 伊賀産業株式会社
監理団体 国際ビジネスコンサルティング事業協同組合

キン チョー チョー サン

このたびは、作文コンテストにおいて栄えある賞ならびにトロフィーを賜り、誠にありがとうございます。今回の受賞は、ひとえに教師組合の先生方、そして伊賀産業の皆様からの温かいご支援とご指導の賜物であり、心より感謝申し上げます。

この受賞は、私の人生において決して忘れることのできない大切な思い出となりました。

また、優勝という大きな励みをいただいたことで、これからさらに努力を重ね、より一層成長してまいりたいと存じます。さらに、私の文章を通じてお伝えした地震に関する情報が、より多くの皆様に広まり、防災への意識向上につながれば、この上ない喜びでございます。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を設けてくださいましたこと、そして私の努力を高く評価してくださいました審査員の皆様方に、改めて心より深く御礼申し上げます。

指導員のことば

来日からわずか1年少しと短い期間で受賞されたことは日頃の日本語勉強の成果が表れたのだと思いに頭が下がる思いです。お仕事の現場は多種多様な国の方々が在籍されており、仕事内での言葉のやり取りは日本語となっております。その中で自分の思っていることを伝えるのはかなり難しいこととは思いますが日々努力なさっています。また、他の国の方々とともに仲良く仕事、プライベートを過ごしてらっしゃることや他の国の方々と共に地域行事にも参加され日本人のやさしさ、あたたかさに触れ感銘を受けてらっしゃったこととても印象に残っています。これからも共に地域の行事・文化に触れていきましょう。キンさん、この度は日本語作文コンクールでの最優秀賞受賞本当におめでとうございます。

伊賀産業株式会社 技能実習指導員 西本 功司